

5 項目別評価(2学期)

A(十分達成) B(概ね達成) C(やや不十分) D(不十分)

項目	指標	具体的方策	評価	○成果 △課題 次回への具体策
学年・学級経営の充実	・教師と児童、児童同士の温かい人間関係をつくれたか。	・好ましい人間関係を醸成できる学級経営づくり ・子どもの話をしっかり聞くことの努力	B	△「子どもの話をしっかり聞いてくれない」ことを訴える保護者が数名いる。 ○国語部を中心に発表の仕方などの設営を更新した。 △学年会は充実しているが、時々放課後行事等でできなかったり、勤務時間外に学年会を行わざるを得ない状況もあった。来年度の行事計画でできるだけ改善を図りたい。
	・教室内外の環境を整備したか。	・望ましい教室設営の工夫 ・廊下の設営の工夫 ・学校・学年として統一すべき掲示物等の検討	B	
	・学年会が充実したか。	・学級・学年経営案の作成と実践・評価の実施	B	
学力水準の向上	・基礎学力の定着をめざし、学習指導の改善・充実をしたか。	・基礎的・基本的事項の内容の把握と指導計画の充実 ・習熟の時間の確保(「読み」「書き」「算」「表現」) ・評価規準の見直しと活用(指導と評価の一体化)	B	○特別な支援の必要な児童への対応として、各種検査や、保護者との面談を行った。 ○算数においては、学年担任と加配が協力して授業設計を行ったり、復習のプリントなどを用いて習熟を図ったりした。 ○家庭学習に関するアンケートを実施したことが、家庭学習の重要性を認識してもらった一助となった。 △学年によっては、家庭学習の時間が余りとれていないという結果が明らかになった。 ○学年によっては、放課後に個別指導をしている。
	・CRT検査の分析・活用を進めたか。	・全体研修に位置づけ、各学級での取り組みと具体策の共通理解	C	
	・教育機器を効果的に活用したか。	・各人が視聴覚教材の製作の努力とデータの共有	C	
	・確かな学力は身に付いたか。	・個に応じた指導の工夫(少人数指導、TT指導、補充・発展的学習) ・「分かる・できる・楽しい」授業の創造	B	

健康増進と安全教育	・教育体育・仲良し体育は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」をもった学習の展開 ・汗を流す体育の授業の実践(運動量への配慮) ・「一校一運動」の推進, 体力・運動能力調査の実施と結果の活用 	B	<p>○1学期と同様に, 体育と音楽の交換授業を実施したり, 学習カードを活用したりして効果が上がっている。</p> <p>○持久走大会に向けて, 子どもたちはランニングに励んでいた。</p> <p>△時々, 仲良し体育の見学の児童が非常に多いときがあった。</p>
	・体育的行事は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある集団行動の育成・充実(運動会, 水泳記録会, 陸上記録会, 持久走大会, なわとび検定等) 	A	<p>○テントの準備などを少しずつ行い, 全体での運動会準備のときは早めに終わった。</p> <p>△計画にない職員作業が数回あり, 来年度は, 事前に計画の中に組み入れる。</p>
	・保健指導は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの励行, 歯磨きの励行と実践 ・健康診断, 諸検査の結果に基づく治療促進の徹底 	A	<p>○1学期と同様に保健便りや食育便りで啓発を図ることが出来た。</p>
	・安全指導は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外における事故(けが)の防止の実践 ・交通安全指導の徹底 ・安全点検の充実 	A	<p>○1学期と同様に安全点検はよく行われ, 係等が即座に修理点検を行っていた。</p> <p>○1学期と同様に, 放課後の下校指導を全校で分担して行っている。</p> <p>△下校時や休日の子どもの生活で, 安全面で気になることがある。</p>
	・性教育は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に位置づけられた題材の研究と実施 ・家庭との連携 	B	<p>○授業参観などで実施し, 保護者の理解を得られた。</p> <p>○養護教諭とのTTにより, より効果的な授業が展開された。</p>
	・給食指導は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・準備, 食事中, 後始末の指導 ・偏食指導 ・食中毒の予防対策 ・家庭や給食センターとの連携 	B	<p>○給食指導の共通理解事項を係が示したことで, スムーズに指導がなされるようになった。</p> <p>○残食が減ったように思われる。</p> <p>△献立が時々不適切である。給食センターと連携を図る必要がある。</p>
道徳教育と読書指導の推進	・道徳の授業の充実と実践化に努めた	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動や自然体験活動などの豊かな体験を通じた道徳性の育成 ・「心の教育の日」の充実 	A	<p>○2学期より, 縦割り班活動で, 異年齢集団による清掃に取り組んだ。その結果, 年下を思いやる気持ちや目上の人を敬う気持ちが育った要に思われる。</p>
	・自他の生命を尊重する意識と態度の育成に努めたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間やいじめ防止強調週間などの取り組みの充実 	A	<p>△言葉遣いがなかなか良くならないことや, 返事が出来ない事がある。重要課題として挙げる必要がある。</p>
	・日常生活の礼儀作法を指導し, 正しく身につけさせたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の使用 ・朝夕のあいさつ励行(校門での一礼指導) ・清潔な身だしなみ ・あいさつの励行 	C	<p>○保護者による読み聞かせボランティアや図書委員会などの劇などにより, 子どもたちが本をより好きになったようだ。</p>
	・読書活動は充実したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・読書冊数目標の設定と多読者の表彰 ・蔵書の充実, 図書館便りの発行, 図書室利用指導の徹底, 親子読書の推進 ・読書感想文コンクールへの積極的応募 	A	

生徒指導の充実	・児童一人一人に対して共感的な理解に努めたか。	・毎日の日記調べによる子どもの生活の把握 ・休み時間や給食時間の会話によるふれあい ・アンケート結果の活用	B	○1学期同様、毎週月曜日のいじめ不登校委員会で事例の共通理解や対応策の検討を行っている。 ○担任をはじめ、関係職員と保護者が連携し、不登校児が一人学校に来るようになった。また、登校渋りの児童も回復し、平常通り登校している。 △他に気になる児童もおり、対策が急がれる。
	・指導態勢は整っているか。	・各学級における毎月の生徒指導上のチェック ・いじめ不登校委員会で共通理解事項の共通実践	A	
	・基本的行動様式の習慣化に努めたか。	・挨拶強調週間等での重点的な指導 ・朝の会、帰りの会での繰り返し指導	C	
人権同和教育の推進	・人権同和教育の理解促進及び実践化に努めたか。	・人権週間の取り組みの工夫、充実	B	△心ない発言をする子どもも時々おり、繰り返し指導や平素の道徳の時間における指導などをさらに行う必要がある。 △言葉遣いは全教育活動を通して教師が手本を見せていく必要がある。 ○いじめなどを把握したら、即座に対応するケースが多かった。
	・いじめのない思いやりのある助け合いの心と態度を育成したか。	・「いじめ対策必携」の再確認 ・家庭との連携	B	
特別支援教育の充実	・障害・特性・能力に応じた可能性を伸ばす指導に努めたか。	・多角的な資料、情報に基づいた適正な就学指導の推進 ・障害・特性・能力に応じた可能性を伸ばす指導の努力 ・校内での計画的な事例研究の推進	B	○各種検査を実施し、分析後の事後処置をしているところである。 △コーディネーターが情報を集約して計画的に支援を行う体制を作る必要がある。
国際理解教育の推進	・外国語に触れさせ、簡単な単語や会話ができるような環境を整えたか。	・全体計画に基づく指導の充実を図る。 ・AEAや地域の人材を招聘し、積極的な交流と異文化の理解への努力 ・他国の文化や習慣、考え方に興味をもたせ、尊重する態度の育成 ・外国語に触れさせ、簡単な単語を知り、会話ができるような環境の整備	B	○本年度はAEAが加わる授業が増え、より効果的な英語学習が展開されている。 △打ち合わせや準備に手間取る場合もあり、効率的な運営の必要がある。
学校環境の整備充実	・校内の環境を整備したか。	・奉仕、清掃、リサイクル、緑化、観察、調査など、自主的活動を通じた、より良い環境を築く態度の育成 ・環境ISOの実践	B	△トイレの改修については数年前より継続的に保護者が望んでおり、何とか実現させたい。 ○耐震工事と外壁工事は事故なく終えることができた。 △工事で学級園があまり使えなかった。
	・学級園・学校園・教材園などの環境の美化と活用に努めたか。	・一人一鉢、花いっぱい運動の推進 ・自然を大切にできる心豊かな人間性の育成	B	○各人、児童がISOに取り組んだ。 ○職員作業で便所掃除を行った。
郷土教育の推進	・郷土の教育素材の発掘と教材化に努め、郷土についての理解を深めさせたか。	・郷土の教育素材の発掘と教材化と、郷土についての理解 ・郷土の人材の発掘と活用促進	B	○職員研修で喜入地区内の企業を見学することができた。 ○教科や総合的な時間、生活科において郷土に住んでおられる人をゲストティーチャーにして授業ができた。

家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と教師の信頼と連携を深めることに努めたか。 ・PTA活動に積極的に参加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標, 教育課程等のPTAへの説明 ・保護者と教師の信頼と連携の強化 ・PTA活動への職員の積極的な参加の促進 	<p>B</p> <p>○各月の学級PTAやバザーなどの行事は計画通り実施できた。特にバザーは保護者の自主的な活動が多くみられ成果が大きかった。 △さらに、PTAの自主的な活動を促進していく必要がある。</p>
学校の危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機に備え、児童・職員の安全確保の対策が整えられているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険物の管理・火気の点検・校舎や特別室の施錠の徹底 スクールガード等との連携 	<p>A</p> <p>△地域からのアンケートで、避難訓練などスクールガード等の方も一緒に行事を行ってはどうかというなげかけもあり、来年度の教育課程に位置づけていきたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は適切であったか。(緊急時への対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機に備え、迅速かつ適切な情報収集の態勢づくり ・危機に備え、児童・職員の安全確保の対策, 対応の徹底 	<p>B</p> <p>△子どもたちの下校時間がまちまちで、同学年だけでも一斉に下校させたい。 ○放課後の下校指導は継続しており、安全指導だけでなく、挨拶の指導も兼ねて行えた。</p>
職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上フロンティアスクール・学習指導カウンセラー派遣校としての成果や課題を生かし、積極的に研究を推進したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画の実施 ・共通理解事項の確認と実践 ・研究授業による指導法改善の取り組み 	<p>B</p> <p>○研究授業は計画通り行うことができ、それぞれ指導法を改善する視点を見つけることができた。また、鹿大の准教授の指導で算数に対する専門的な見方も深まった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力の向上に努めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究テーマの設定と実践 ・管理職による授業参観時の指導助言による授業改善 	<p>A</p>
事務処理の迅速・適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する事務処理を迅速適正に行ったか。 ・報告・連絡・相談は確実であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸報告文書, 諸調査等は報告期日厳守 ・個人情報の適正管理 ・諸帳簿の正確な記録と適切な保管 	<p>B</p> <p>○本年度は公文等の回覧で全職員に内容の周知徹底を行っている。 △時間確保が大きな課題である。</p>